

2023年9月12日第156回運輸政策コロキウム（小松研究員）

宿利会長 開会挨拶

皆様おはようございます。運輸総合研究所の会長で、ワシントン国際問題研究所の会長でもあります宿利です。

本日はオンラインのみの開催ではありますが、多くの皆様にご視聴の申込みをいただきまして、誠にありがとうございます。

さて、ワシントン国際問題研究所の研究員がその研究成果を発表する運輸政策コロキウム「ワシントン・レポート」は、2019年3月にスタートし、今回で17回目を迎えます。

海上保安分野をテーマとして取り扱うのは今回が4回目であり、前回は1年半前の2022年2月に、当時の岡本研究員から「自由で開かれたインド太平洋（FOIP）実現に向けた国際協力の現状と今後」というテーマで研究発表を行いました。

本日は、小松研究員から「インド太平洋地域における海上保安能力向上支援のあり方～東南アジア諸国の反応を踏まえた QUAD 連携による能力向上支援の取組み～」というテーマについて、米国ワシントン DC からオンラインにより研究発表を行います。

小松研究員は、2022年4月に岡本研究員の後任としてワシントン国際問題研究所に着任して研究を続けており、今回初めてこのコロキウムに登壇します。

皆様ご案内のとおり、昨今の国際的な安全保障環境は、中国の海洋進出やロシアによるウクライナへの武力侵攻など、力による一方的な現状変更を目指す動きが目に見え、極めて不安定な状況にあります。

このような中で、我が国が主導する FOIP は、インド太平洋地域に普遍的な価値及びルールに基づく国際秩序を実現する取組みであり、我が国は、その実現のため様々な施策を展開しております。

特に海洋安全保障の分野においては、インド太平洋沿岸国が自律的な海上保安能力を獲得することが、地域全体の平和と安定に裨益するとの考えに基づき、海上保安庁を中心に、各国への能力向上支援に取り組んできました。

その主なものは、巡視船や装備品の供与、専門家チームの派遣による捜索救難や海上法執行業務に関する技術指導、関係国の海上保安機関の職員を我が国に招聘しての研修等です。

さらに、これらの取組みを現地でサポートするため、在外公館の書記官や領事、JICAの専門家、その他小松研究員のような関係機関の職員として、多くの海上保安庁の職員が関係国に派遣されています。

私は、先週マレーシアとフィリピンを訪問し、両国の駐箚日本国大使、大使館の書記官、JICAの専門家の皆さんとお会いして、海上保安協力について情報や意見の交換を行ってきました。

例えば、フィリピンでは越川大使から、日本政府が供与した全長約97メートルの大型巡視船2隻が大活躍をしており、フィリピン政府から大変感謝されているという話をうかがいました。

現に私のマニラ滞在中、この大型巡視船が南シナ海に出動し、中国海警局の船舶と対峙する形で厳しい任務を無事に遂行していました。

また、マレーシアとフィリピン両国には、日本大使館の書記官として海上保安庁から職員が派遣され、さらに、マレーシア海上法執行庁とフィリピン沿岸警備隊には、海上保安庁からJICAの専門家が派遣されて、現地において海上保安能力の向上に協力しています。

これらの皆さんが、いずれも強い使命感を持って取り組んでいる状況を直接確認し、私としては大変頼もしく感じてきたところです。

現在、このようなFOIP実現のための我が国単独の取組みのほか、米国、オーストラリア、インドという我が国と志を同じくする国々が、QUADの連携により様々な協力を進めており、東南アジア諸国に対する海上保安能力向上支援についても、今後のQUAD連携による支援について関心が高まっています。

さて、本日は、まず小松研究員から、その研究成果として「**東南アジア諸国の反応を踏まえたQUAD連携による能力向上支援の取組み**」について発表します。

その後、東南アジア地域情勢の専門家であるシンガポール南洋理工大学の古賀准教授が、シンガポールからオンラインで、我が国や日米共同による海上保安能力向上支援に対する、東南アジア諸国の反応や受止めについて講演していただくとともに

に、小松研究員の発表に対するコメントを頂戴します。

最後に、米国ワシントン DC のスティムソンセンターのシニアフェローであり、東アジア共同部長兼日本部長の辰巳様をコーディネーターとして、ワシントン DC からオンラインで、米国のインド太平洋戦略に触れつつ、我が国と東南アジア地域との今後の関係に議論を広げ、QUAD 連携を含めた海上保安能力向上支援のあり方について議論を深めます。

本日の運輸政策コロキウムが、ご参加いただきました皆様にとりまして、真に有益なものとなりますことを期待しまして、開会にあたりましての私のご挨拶といたします。

本日は、ご参加いただきまして誠にありがとうございます。